

## < 2学期終業式講話 >



約4ヶ月と長い期間があった2学期でしたが、あっという間に終わってしまいました。それだけ、いろいろなことに一生懸命取り組み、多くの成果を得ることができたということでもあります。

ところで、始業式の際に、2学期は十四山東部小学校のすばらしい伝統を取り戻していこうという話をしました。高学年は、「低学年のために」という意識と「低学年の手本になるように」という行動でした。低学年は、「高学年のおにいさん、おねえさん、ありがとう」という気持ちと、「自分たちもしっかりやろう」とする行動でした。

先週書いてもらった、「2学期のふり返り」を見ると、高学年は、「分からないときに教えてあげた」とか、「みんなが楽しめるように考えた」と書いている人がたくさんいました。低学年は、「優しく教えてもらって、うれしかった」とか、「わたしも高学年になったら、優しく教えてあげるようにしよう」と書いている人がたくさんいました。普段の行動を見ていると、いろいろなことをしっかりやろうとしている人が増えてきたように感じます。

ある学校の合い言葉で『喜んでもらうことを喜ぶ』というのを見たことがあります。十四山東部小学校もだんだん、こうなっているなと思います。周りのことを考えて行動し、相手が「ありがとう」と感じているときは、自分もきちんとした行動ができ、「よかった」と思えるときです。こうしてこれからも、もっとすばらしい学校、すばらしい一人一人にしていきたいと思います。



## よい年末・年始を

冬休み中は、クリスマス、年末年始と1年の中で家族で過ごす機会が一番多い時期です。3学期には、昨年に引き続きカルタ大会を行います。「いろはカルタ」「ことわざカルタ」「百人一首」など学年に応じて取り組んでいきます。また、1年生は「昔遊び」にも挑戦します。この機会に、機械を相手に遊ぶばかりでなく、家族の団らんのひとつとして取り組んでいただけたらと思います。

また、年末の大掃除、新年のおせち料理やお雑煮などの日本の伝統文化を伝え、楽しい冬休みにしてください。

今冬は、例年になく厳しい寒さが続いています。インフルエンザ等にくれぐれも注意して、良い年をお迎えください。

